

平成23年4月20日公表

平成22年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、 収穫量及び出荷量

- かきの収穫量は、前年産に比べて27%減少 -

【調査結果の概要】

1 西洋なし

西洋なしの収穫量は2万6,200 tで、果実肥大期の高温・少雨に伴う果実の肥大の抑制等により10a当たり収量が低下したこと等から、前年産に比べて7,400 t (22%)減少した。

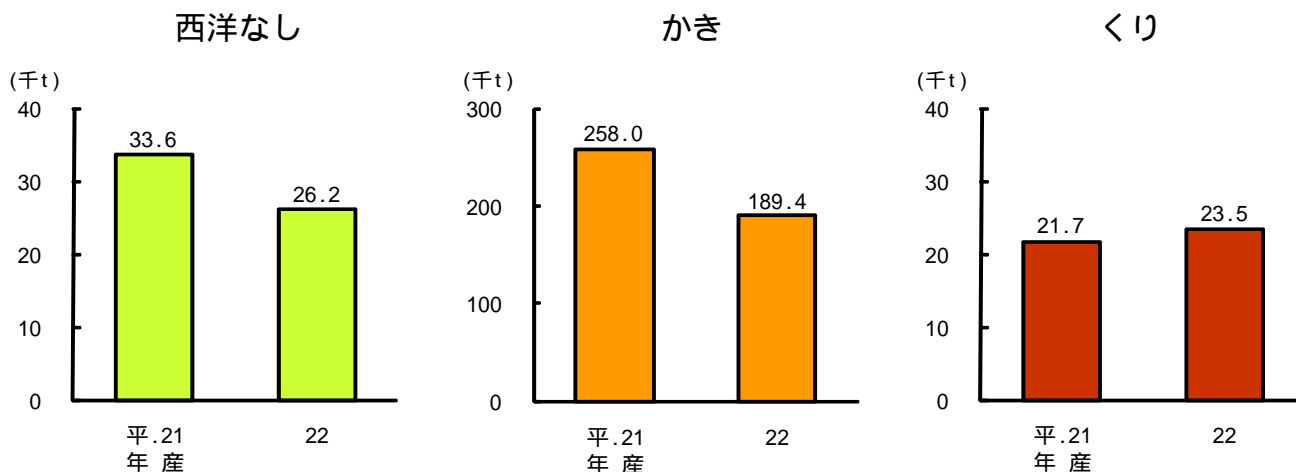
2 かき

かきの収穫量は18万9,400 tで、和歌山県、奈良県、福岡県等で開花期の天候不順に伴う結果数の減少等により10a当たり収量が低下したこと等から、前年産に比べて6万8,600 t (27%)減少した。

3 くり

くりの収穫量は2万3,500 tで、茨城県、熊本県等で開花期の天候に恵まれ結^{きゅう}数の増加等により10a当たり収量が上昇したことから、前年産に比べて1,800 t (8%)増加した。

図1 西洋なし、かき、くりの収穫量の推移（全国）



収穫量とは、収穫したもののうち、生食用、加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。

注：1 本年産は主産県を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した。
2 この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」でご覧いただけます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

調査結果の利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産数量目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業災害補償法に基づく共済事業の適正な運営のための資料

累年データ

1 西洋なし

区 分	結果樹面積 ha	10a当たり 収 量 kg	収 穫 量 t	出 荷 量 t	卸売価格
					(9月～12月) 円/kg
平成 13 年産	1 700	1 660	28 200	25 000	282
14	1 730	1 800	31 000	27 500	257
15	1 730	1 950	33 800	30 000	246
16	1 730	1 380	23 900	20 800	356
17	1 760	1 830	32 300	28 500	237
18	1 760	1 610	28 300	24 700	312
19	1 740	1 700	29 600	26 100	291
20	1 700	1 970	33 500	29 500	238
21	1 680	2 000	33 600	29 600	233
22 (概数)	1 640	1 600	26 200	23 200	322

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』、『青果物流通統計』（以下の統計表において同じ。）

2 かき

区 分	結果樹面積 ha	10a当たり 収 量 kg	収 穫 量 t	出 荷 量 t	卸売価格
					(9月～12月) 円/kg
平成 13 年産	24 500	1 150	281 800	227 200	196
14	24 500	1 100	269 300	217 600	204
15	24 400	1 090	265 000	212 800	193
16	23 800	975	232 400	184 900	259
17	23 700	1 210	285 900	230 800	163
18	23 500	990	232 700	186 700	244
19	23 200	1 060	244 800	196 000	229
20	23 000	1 160	266 600	213 400	194
21	22 700	1 140	258 000	212 100	187
22 (概数)	22 400	846	189 400	155 100	317

3 <り

区 分	結果樹面積 ha	10a当たり 収 量 kg	収 穫 量 t	出 荷 量 t	卸売価格
					(8月～10月) 円/kg
平成 13 年産	25 900	112	29 000	20 400	318
14	25 600	117	30 100	21 600	291
15	25 300	98	24 600	17 500	413
16	24 300	99	24 000	16 600	338
17	23 800	92	21 800	14 800	461
18	23 300	99	23 100	16 200	394
19	23 000	96	22 100	15 600	415
20	22 500	112	25 300	18 300	336
21	22 100	98	21 700	15 600	418
22 (概数)	21 700	108	23 500	17 100	418

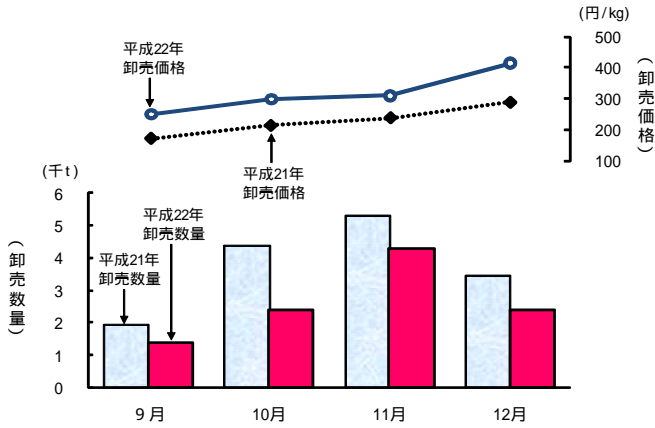
結果樹面積とは、生産者が当該年産の収穫を意図して結果させた栽培面積をいう。

出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費、生産物を贈与した量、収穫後の減耗等を差し引いた重量をいう。

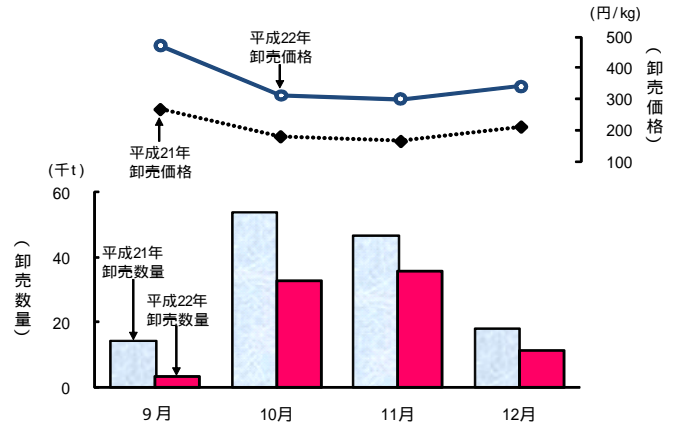
関連データ

1 西洋なし、かき、くりの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場・国産）

(1) 西洋なし



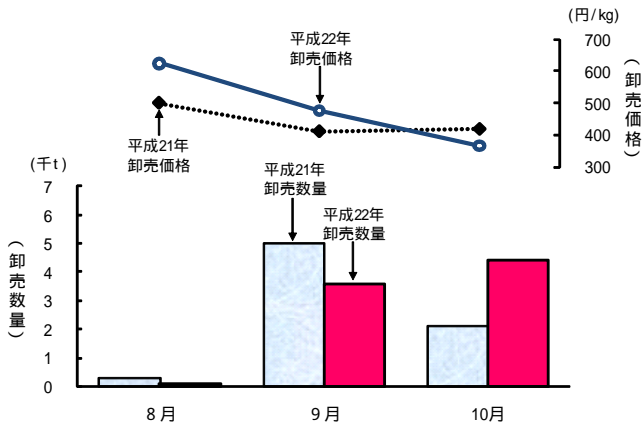
(2) かき



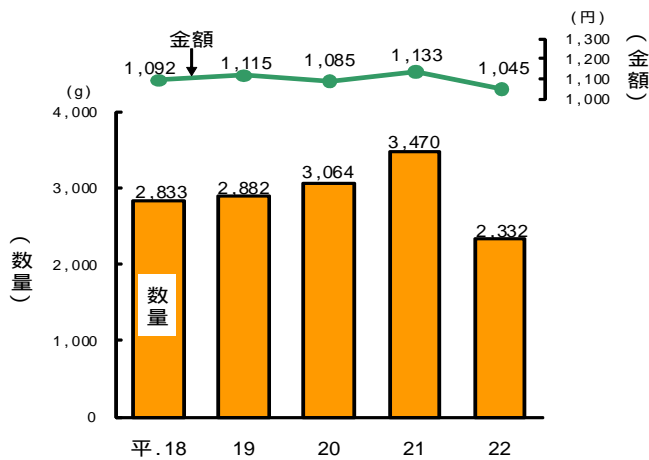
資料：農林水産省統計部『青果物流通統計』

注：主要卸売市場とは、全国の主要都市に所在する青果物卸売市場の89市場をいう(以下のグラフにおいて同じ。)

(3) くり



2 かきの一世代り年間の支出金額及び購入数量の推移



資料：総務省『家計調査年報』（家計収支編・二人以上の世帯）

注：西洋なし及びくりについては、『家計調査』の調査品目になっていないため掲載していない。

【調査結果】

1 西洋なし

平成22年産西洋なしの収穫量は2万6,200t、出荷量は2万3,200tで、前年産に比べてそれぞれ7,400t（22%）、6,400t（22%）減少した。

(1) 結果樹面積は1,640haで、前年産に比べて40ha（2%）減少した。

これは、生産者の高齢化に伴う廃園等が進んだためである。

(2) 10a当たり収量は1,600kgで、前年産に比べて20%下回った。

これは、果実肥大期の高温・少雨に伴い果実の肥大が抑制されたこと等による。

(3) 都道府県別にみた収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図2 西洋なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

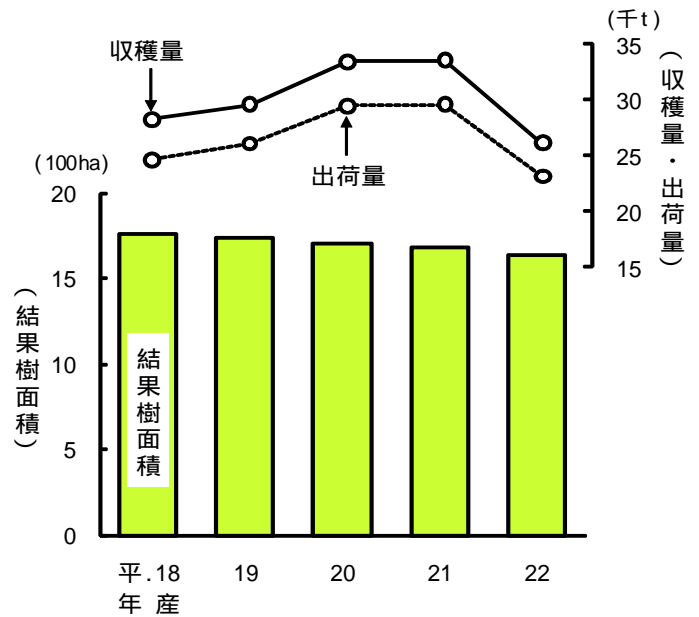


図3 西洋なしの都道府県別収穫量割合

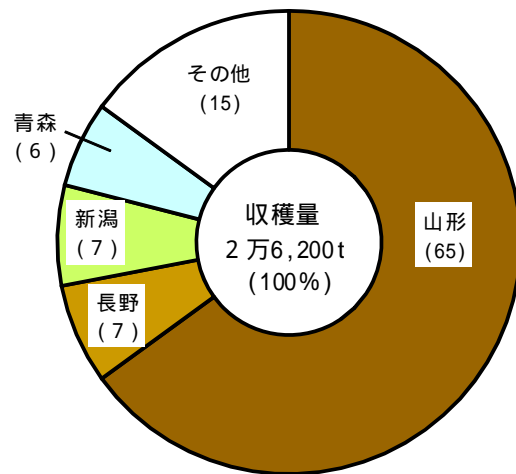


表1 平成22年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西洋なし	1 640	1 600	26 200	23 200	98	80	78	78

注：全国値については主産県の結果を基に推計した（以下の表において同じ。）

2 かき

平成22年産かきの収穫量は18万9,400t、出荷量は15万5,100tで、前年産に比べてそれぞれ6万8,600t(27%)、5万7,000t(27%)減少した。

(1) 結果樹面積は2万2,400haで、前年産に比べて300ha(1%)減少した。

(2) 10a当たり収量は846kgで、前年産に比べて26%下回った。

これは、和歌山県、奈良県、福岡県等で開花期の天候不順に伴い結果数が減少したこと等による。

(3) 都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が19%、奈良県が12%、福岡県が8%、福島県が7%となっており、この4県で全国の約5割を占めている。

図4 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

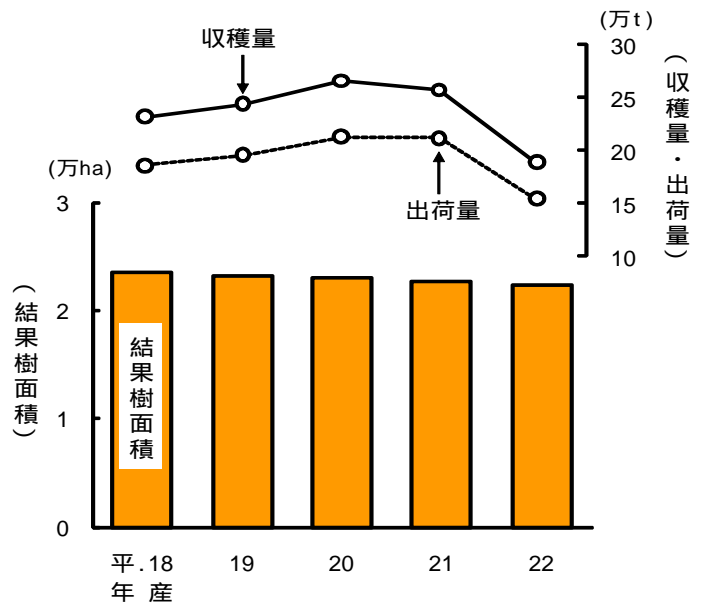


図5 かきの都道府県別収穫量割合

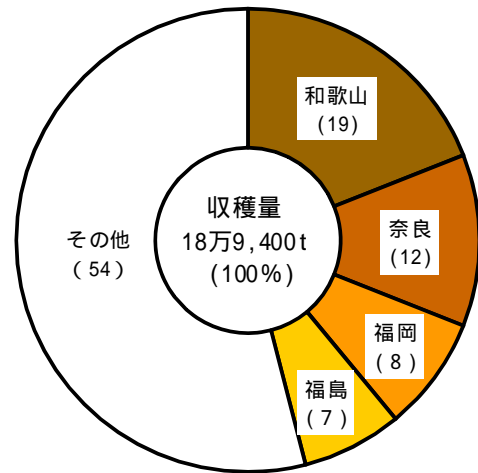


表2 平成22年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量(全国)

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
かき	22 400	846	189 400	155 100	99	74	73	73

3 くり

平成22年産くりの収穫量は2万3,500t、出荷量は1万7,100tで、前年産に比べてそれぞれ1,800t（8%）、1,500t（10%）増加した。

(1) 結果樹面積は2万1,700haで、前年産に比べて400ha（2%）減少した。
これは、生産者の高齢化に伴う廃園等が進んだためである。

(2) 10a当たり収量は108kgで、前年産に比べて10%上回った。
これは、茨城県、熊本県等で開花期の天候に恵まれ結球数が増加したこと等による。

(3) 都道府県別にみた収穫量割合は、茨城県が28%、熊本県が14%、愛媛県が8%となっており、この3県で全国の5割を占めている。

図6 くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

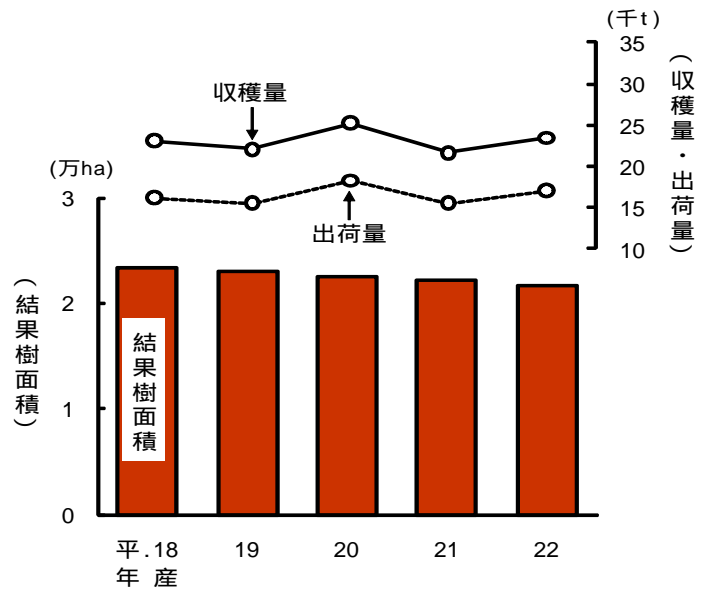


図7 くりの都道府県別収穫量割合

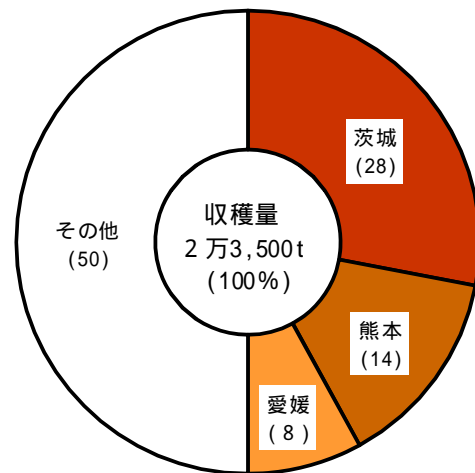


表3 平成22年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
くり	21 700	108	23 500	17 100	98	110	108	110

【統計表】

1 西洋なし

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	1 640	1 600	26 200	23 200	98	80	78	78
うち 青 森	143	1 090	1 560	1 240	95	83	78	78
岩 手	73	1 260	920	791	86	75	65	64
山 形	950	1 800	17 100	15 200	99	79	78	79
福 島	46	1 600	736	664	94	85	79	80
新 潟	99	1 760	1 740	1 500	102	86	88	88
長 野	122	1 530	1 870	1 690	95	81	76	75

注：主産県を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（以下の統計表において同じ。）。

2 かき

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	22 400	846	189 400	155 100	99	74	73	73
うち 山 形	1 040	888	9 240	7 540	98	108	106	106
福 島	1 280	1 090	14 000	12 000	100	103	103	106
新 潟	730	1 340	9 780	8 970	96	81	78	78
富 山	286	538	1 540	1 210	100	92	92	91
石 川	288	341	982	491	100	81	81	75
福 井	137	387	530	321	99	75	74	85
山 梨	597	849	5 070	4 000	104	90	93	94
長 野	667	1 300	8 670	7 560	98	99	98	98
岐 阜	1 360	728	9 900	8 830	98	57	56	57
愛 知	1 250	809	10 100	8 130	98	93	91	90
奈 良	1 860	1 200	22 300	21 000	100	72	72	74
和 歌 山	2 790	1 270	35 400	31 600	99	62	62	61
鳥 取	328	737	2 420	1 930	98	82	80	81
島 根	472	434	2 050	1 320	95	96	92	92
香 川	205	570	1 170	896	100	80	80	79
愛 媛	764	1 130	8 630	7 380	98	73	71	70
福 岡	1 990	749	14 900	13 500	99	61	60	60

3 くり

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	21 700	108	23 500	17 100	98	110	108	110
うち 茨 城	3 910	170	6 650	5 360	99	142	140	141
栃 木	622	87	541	319	95	123	116	115
埼 玉	709	102	723	462	100	94	94	94
千 葉	518	127	658	435	100	115	116	114
東 京	492	83	408	323	99	93	92	95
神 奈 川	523	85	445	334	98	88	86	88
石 川	145	90	131	97	99	92	92	90
長 野	250	198	495	352	97	97	94	96
岐 阜	597	133	794	591	99	96	95	97
静 岡	328	120	394	220	99	98	97	95
大 阪	219	80	175	122	99	98	97	97
兵 庫	658	69	454	248	98	96	94	94
島 根	229	41	94	56	91	95	87	84
徳 島	151	77	116	69	93	99	92	88
香 川	56	54	30	16	100	90	88	84
愛 媛	2 310	81	1 870	1 560	98	83	81	80
熊 本	3 070	108	3 320	3 000	100	106	106	107
大 分	473	87	412	341	92	94	87	92
宮 崎	857	93	797	703	96	104	100	100

【調査の概要】

1 調査の目的

果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実を安定的に供給するための生産数量目標の策定及びその達成に向けた生産対策、需給調整・流通改善対策の推進、農業災害補償法に基づく共済事業の適正な運営のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

平成16年産（5年周期の全国調査年）の全国出荷量のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県を調査対象（主産県）としている。

(2) 調査対象の選定

調査の対象は、調査対象県において、調査対象品目の集出荷を行っている農協等の関係団体（関係団体調査）及び標本経営体（標本経営体調査）としており、その選定については、以下のとおりとした。

ア 関係団体調査（全数調査）

全ての調査対象となる関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

2005年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培した農林業経営体を無作為に抽出（母集団名簿を栽培面積順に並べ替えを行い、設定した栽培面積規模別の標本数に応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）した。

(3) 調査対象数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数	有効回収数	有効回収率 = / %	母集団経営体数	標本数	抽出率 = / %	1) 有効回収数	有効回収率 = / %
西洋なし	145	136	93.8	9,059	416	4.6	2) 137	32.9
かき	206	195	94.7	32,931	1,109	3.4	688	62.0
くり	158	132	83.5	20,142	1,324	6.6	724	54.7

注： 1)は、回収があったもののうち、当年産において栽培がなかった経営体等を除いた数である。

2)は、2005年農林業センサスにおいて西洋なしを調査品目としていないことから、当該品目が含まれている「その他の果樹を販売目的で栽培した農林業経営体」を調査の母集団としているため有効回収数が少なくなっている。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

結果樹面積、収穫量及び出荷量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

この調査の年産区分の主たる収穫期間は次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
西洋なし	平成22年9月～平成22年10月
かき	平成22年9月～平成22年12月
くり	平成22年8月～平成22年10月

5 調査方法

結果樹面積の把握は、関係団体に対する往復郵送調査及び職員による巡回・見積りの方法、収穫量及び出荷量の把握は、関係団体及び標本経営体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・情報収集の方法による。

6 集計方法

結果樹面積は、関係団体調査及び巡回・見積りにより得られた結果を集計している。

収穫量は、往復郵送調査結果により算出した10a当たり収量を、必要に応じて巡回・情報収集結果により補完し、結果樹面積を乗じて算出している。

なお、往復郵送調査結果により算出した10a当たり収量については、調査対象品目について、関係団体を取り扱う数量の割合がおおむね8割以上の場合は団体調査結果を、おおむね8割未満の場合は標本経営体調査結果を採用している。

7 全国値の推計方法

全国値は、本年産の主産県の結果（結果樹面積については、平成22年10月に公表した「平成22年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」における栽培面積に占める割合も考慮）と全国調査年（平成21年産）における全国に占める主産県の割合を基に推計している。

8 目標精度

本調査において、目標精度は設定していない。

9 用語の解説

- (1) 結果樹面積とは、生産者が当該年産の収穫を意図して結果させた栽培面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用、加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費、生産物を贈与した量、収穫後の減耗等を差し引いた重量をいう。

10 利用上の注意

統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1 000)	3 桁 (100)
四捨五入する桁（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入 し ない
例	四捨五入する前（原数）	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123 500	12 300	1 230	123

11 その他

この資料の数値は概数値である。確定した詳細な数値はホームページに掲載（平成23年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成22年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、ホームページに掲載した後の正誤情報はホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類は「果樹」に分類しています。

【関連リンク】

果樹関係ページ: 農林水産省 > 生産 > 園芸作物 (野菜・果樹・花き) > 果樹のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針:

http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/f_sesaku/pdf/kihon-housin.pdf

問合せ先

本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電話:(代表)03-3502-8111 内線3680
(直通)03-6744-2044

農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画課 広報普及班
電話:(代表)03-3502-8111 内線3589
(直通)03-6744-2037